

上田市文化財調査報告書第122号

市 内 遺 跡

平成26年度市内遺跡発掘調査報告書

2015.3

上 田 市
上 田 市 教 育 委 員 会

例 言

- 1 本書は長野県上田市における各種開発事業等に伴う遺跡確認のための、平成26年度市内遺跡発掘調査報告書である。
- 2 本文中の遺跡番号は、平成18年3月6日の上田市・丸子町・真田町・武石村の合併以前の市町村の番号を使用している。
- 3 調査は、国庫補助事業として上田市（事務局 上田市教育委員会事務局文化振興課）が実施した。
- 4 事業は、平成26年4月1日から平成27年3月25日まで実施した。なお、平成26年2月以降に実施した現地調査分については本報告書に掲載し、27年2月以降に実施した分については次年度の報告とする。
- 5 調査は、文化振興課の中沢徳士が担当した。
- 6 調査は主として、バックホーによるトレンチ調査を主として行った。
- 7 調査にかかる資料は、上田市立信濃国分寺資料館に保管している。
- 8 調査にかかる事務局の体制は、次のとおりである。
（教育長）小山壽一（教育次長）西入直樹（文化振興課長）浅野之宏（文化財保護係長）久保田敦子
（文化財保護係）中沢徳士・和根崎剛
- 9 調査にあたり、施工主及び関係機関並びに地域の方々に、日程調整及び発掘調査の承諾等でご協力をいただいた。深く感謝の意を表するものである。

目 次

凡例・目次

市内遺跡発掘調査箇所

1 七反田遺跡		1
2 染屋台条里水田跡遺跡		4
3 塩田城跡		7
4 清水坂遺跡		10
5 染屋台条里水田跡遺跡		13
6 依田条里的遺構		16
7 上平遺跡		19
8 国分寺周辺遺跡群		22
9 染屋台条里水田跡遺跡		25
10 稲葉西遺跡		28
11 下久根遺跡		31

報告書抄録		34
-------	-------	----



1 七反田遺跡

- (1) 調査地 上田市常磐城6-13-13
- (2) 遺跡番号 上田69
- (3) 原因 個人住宅建設
- (4) 調査日 平成26年2月5日
- (5) 調査方法 バックホーによるトレンチ調査
- (6) 調査面積 約20㎡
- (7) 調査担当者 中沢徳士

経過

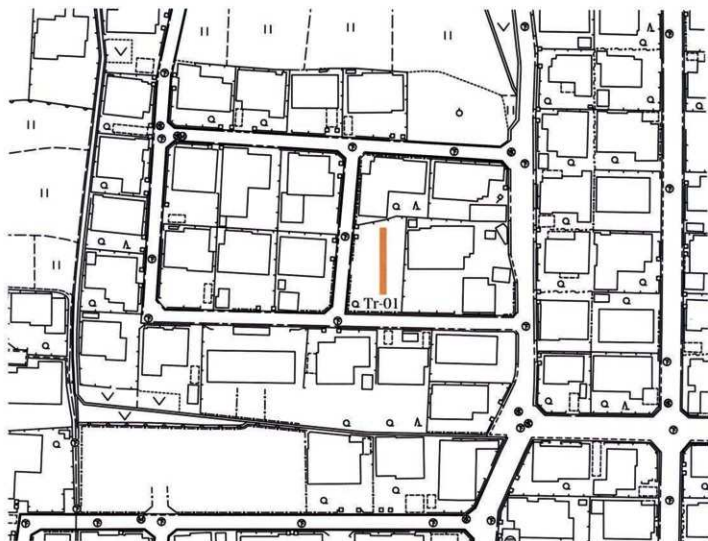
七反田遺跡は、『上田市の原始・古代文化』(昭和49年上田市教育委員会)によれば、『常磐城団地の工事中に、中・後期の土師器を出土した。分布範囲は明確でない。』と記されているとおり、遺跡の大部は住宅団地となっている。今回、個人住宅を建設する計画があり、事前に遺跡の確認発掘調査を実施した。

調査の結果

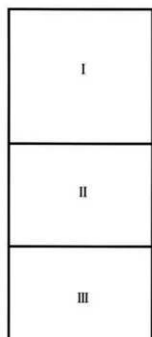
調査は建設範囲に1本のトレンチを入れて実施した。その結果、遺構・遺物の検出はまったくなく、低湿地帯の様相を呈し、当該地に遺跡が拡がっていないことが判明した。



七反田遺跡調査位置図(1/2500)



七反田遺跡試掘調査トレンチ設定図 (1/1000)



GL



-100cm

土層凡例

I … 灰褐色砂質土層 (埋土)

II … 橙灰色強粘質土層

III … 黒褐色強粘質土層

七反田遺跡土層柱状図



調査前現地（南西から）



トレンチ掘削状況（北から）



トレンチ土層（西から）

2 染屋台条里水田跡遺跡

- (1) 調査地 上田市上野5
- (2) 遺跡番号 上田52
- (3) 原因 個人住宅建設
- (4) 調査日 平成26年3月5日
- (5) 調査方法 バックホーによるトレンチ調査
- (6) 調査面積 約12㎡
- (7) 調査担当者 中沢徳士

経過

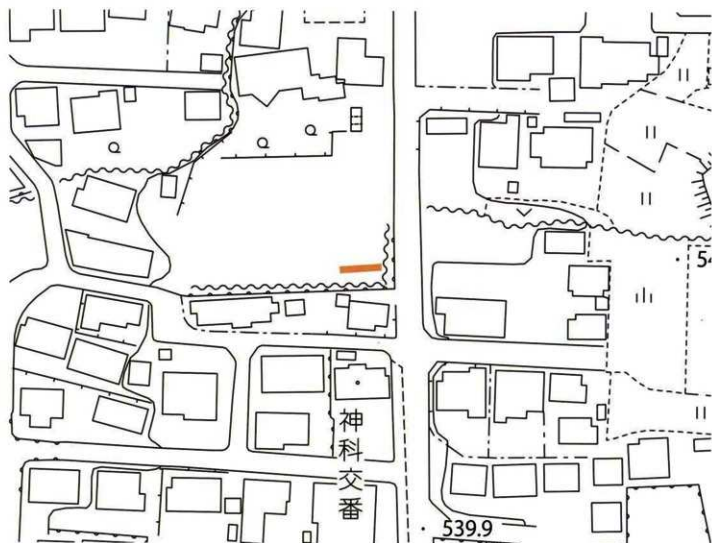
染屋台条里水田跡遺跡は市街地の北東部に広がる条里水田遺跡で、遺跡分布図では台地全体を条里水田遺跡として括っているものの、従前の調査では埋没条里等の遺構は確認されていない。しかし、大規模開発事業等に伴う発掘調査や試掘調査等によって、幾つかの集落遺跡等が確認されており、少しずつではあるが台地上の遺跡の状況が把握されつつある。今回、この遺跡内で個人住宅建設工事が計画され、遺跡の確認調査を実施した。

調査の結果

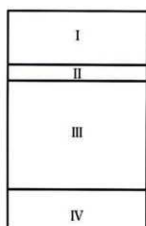
調査は拡幅範囲に1本のトレンチを入れて実施した。その結果、遺構・遺物の検出はまったくなく、当該地に遺跡が存在しないことが判明した。



染屋台条里水田跡遺跡調査位置図 (1/2500)



染屋台条里水田跡遺跡試掘調査トレンチ設定図 (1/1000)



GL

-100cm

土層凡例

- I … 灰褐色砂質土層 (埋土)
- II … 黒灰色弱粘質土層
- III … 橙灰色弱粘質土層
- IV … 黄橙色弱粘質土層

染屋台条里水田跡遺跡土層柱状図



トレンチ掘削状況（南から）



トレンチ掘削状況（南東から）



土層断面（南から）

3 塩田城跡

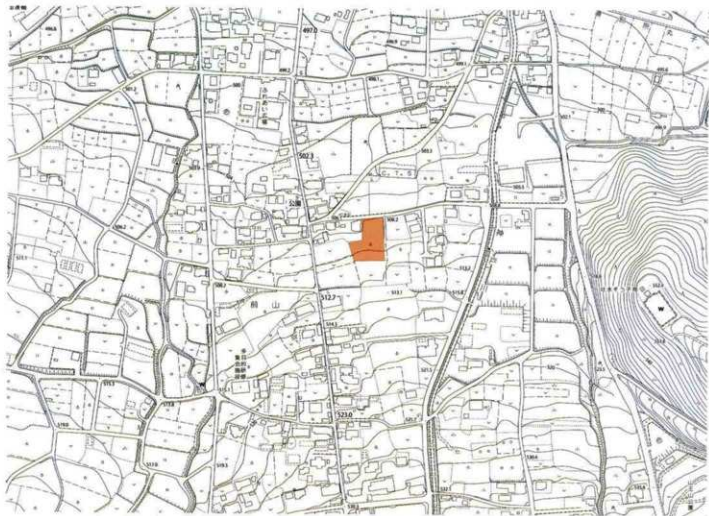
- (1) 調査地 上田市前山176
- (2) 遺跡番号 上田235
- (3) 原因 個人住宅建設
- (4) 調査日 平成26年3月12日
- (5) 調査方法 バックホーによるトレンチ調査
- (6) 調査面積 約60㎡
- (7) 調査担当者 中沢徳士

経過

塩田城跡は、独錯山の支峰弘法山の北麓にある城跡で、広大な中世の山城として県指定史跡にもなっている。当該地は、県指定史跡内ではないものの、塩田城跡の範囲に含まれている。今回、この遺跡内において住宅建設の届出があり、確認の試掘調査を実施することとなった。

調査の結果

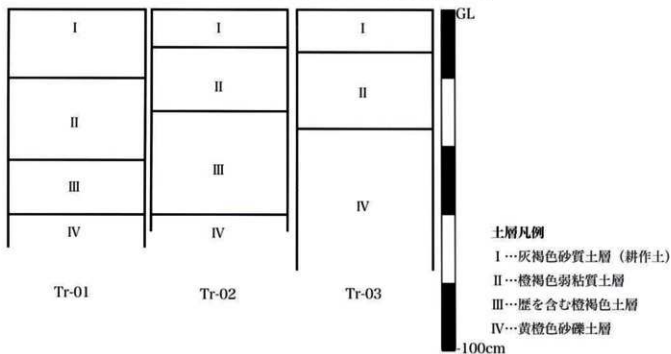
調査は拡幅範囲に3本のトレンチを入れて実施した。その結果、遺構・遺物の検出はまったくなく、当該地に遺跡が存在しないことが判明した。



調査位置図 (1/2500)



堀田城跡試掘調査トレンチ設定図 (1/1000)



堀田城跡土層柱状図



Tr-01 (東から)



Tr-02 (北から)



Tr-02 土層 (東から)

4 清水坂遺跡

- (1) 調査地 上田市下武石135-1
- (2) 遺跡番号 武石14
- (3) 原因 牛舎及び堆肥小屋建設
- (4) 調査日 平成26年3月18日
- (5) 調査方法 バックホーによるトレンチ調査
- (6) 調査面積 約30㎡
- (7) 調査担当者 中沢徳士

経過

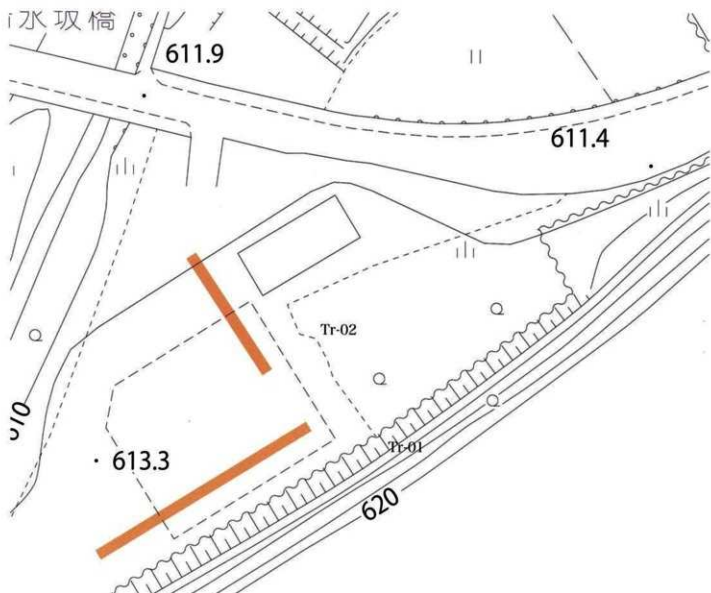
清水坂遺跡は武石川左岸の段丘上に位置する遺跡で、加曽利E式、石鏃、石錐等が表採されている。今回、当遺跡内で牛舎及び堆肥小屋の建設計画があり、遺跡の確認調査を実施した。

調査の結果

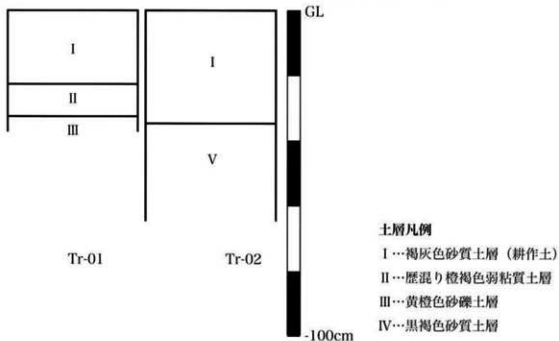
調査は拡幅範囲に2本のトレンチを入れて実施した。その結果、遺構・遺物の検出はまったくなく、当該地に遺跡が存在しないことが判明した。



調査位置図 (1/2500)



清水坂遺跡試掘調査トレンチ設定図 (1/1000)



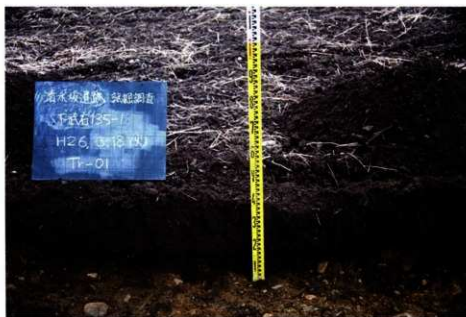
清水坂遺跡土層柱状図



Tr-01 (南から)



Tr-02 (西から)



Tr-01 セクション (東から)

5 染屋台条里水田遺跡

- (1) 調査地 上田市古里46-1
- (2) 遺跡番号 上田52
- (3) 原因 埋設式消化貯水タンク設置
- (4) 調査日 平成26年3月25日
- (5) 調査方法 バックホーによるトレンチ調査
- (6) 調査面積 約10㎡
- (7) 調査担当者 中沢徳士

経過

染屋台条里水田跡遺跡は市街地の北東部に拡がる条里水田遺跡で、遺跡分布図では台地全体を条里水田遺跡として括っているものの、従前の調査では埋没条里等の遺構は確認されていない。しかし、大規模開発事業等に伴う発掘調査や試掘調査等によって、幾つかの集落遺跡等が確認されており、少しずつではあるが台地上の遺跡の状況が把握されつつある。特に今回は、工事予定地の東側で「西之手遺跡」が確認されている。(平成11年3月上田市教育委員会)ため、遺跡の確認調査を実施した。

調査の結果

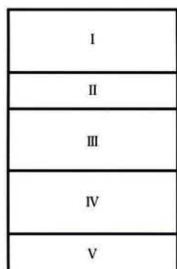
調査は拡幅範囲に1本のトレンチを入れて実施した。その結果、遺構・遺物の検出はまったくなく、当該地に遺跡が存在しないことが判明した。



調査位置図 (1/2500)



染屋台条里水田跡遺跡試掘調査トレンチ設定図 (1/1000)



GL



土層凡例

- I…灰色砂質土層 (表土・埋土)
- II…橙灰色弱粘質土層 (旧溶脱層)
- III…灰橙色弱粘質土層
- IV…橙白色強粘質土層
- V…橙黄色強粘質土層

染屋台条里水田跡遺跡土層柱状図



Tr-01 (西から)



Tr-02 (東から)



Tr-01 セクション (南から)

6 依田条里的遺構及び三角遺跡群

- (1) 調査地 上田市御岳堂の場682～684
- (2) 遺跡番号 丸子56
- (3) 原因 共同住宅建設
- (4) 調査日 平成26年5月2日
- (5) 調査方法 バックホーによるトレンチ調査
- (6) 調査面積 約100㎡
- (7) 調査担当者 中沢徳士

経過

依田条里的遺構は御岳堂地籍にひろがる古代から中世の条里的遺構であり、三角遺跡群は諏訪田遺跡や社軍神遺跡等で構成される遺跡群で、分布範囲は依田条里的遺構の東側、依田川の左岸段丘上にひろがる。諏訪田遺跡からは溝で区画された地域とそれに平行する掘立柱建物跡3棟が検出され、庄園の在家の遺構と推測されている。今回の調査区は、条里的遺構の南東段丘寄りで、三角遺跡群の中の的場遺跡にあたり、丸子町誌によれば、土師器や須恵器の出土があるという。

今回の地区に共同住宅建設の建設が予定されたため、事前に試掘調査を実施した。

調査の結果

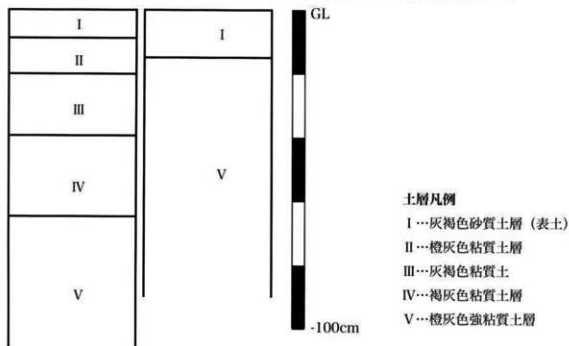
調査は届出地に3本のトレンチをF字状に入れて実施した。その結果、遺構・遺物の検出はまったくなく、当該地に遺跡が存在しないことが判明した。



調査位置図 (1/2500)



依田条里の遺構及び三角遺跡試掘調査トレンチ設定図 (1/1000)



依田条里の遺構・三角遺跡土層柱状図



Tr-01 (東から)



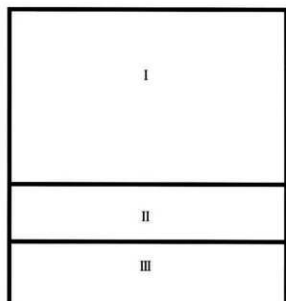
Tr-02 (南から)



Tr-03 セクション (西から)



上平遺跡試掘調査トレンチ設定図 (1/500)



土層凡例

- I … 褐灰色砂質土層 (表土)
- II … 橙灰色弱粘質土層
- III … 褐灰色土層

上平遺跡土層柱状図



調査着手前（東から）



トレンチ掘削（西から）



トレンチ掘削（西から）

8 国分寺周辺遺跡群

- (1) 調査地 上田市国分 994-4
- (2) 遺跡番号 上田 56
- (3) 原因 共同住宅建設
- (4) 調査日 平成26年10月1日
- (5) 調査方法 バックホーによるトレンチ調査
- (6) 調査面積 約20㎡
- (7) 調査担当者 中沢徳士

経過

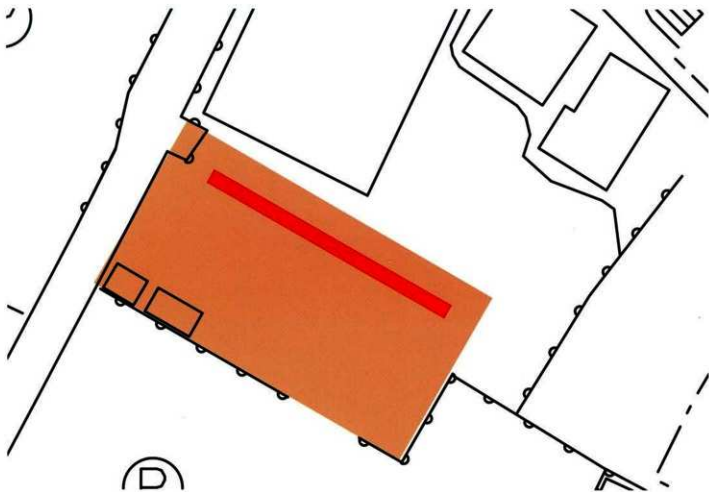
国分寺周辺遺跡群は、信濃国分寺跡周辺の遺跡群で、調査地はこの遺跡群の中の西沖遺跡に該当する。「上田市の原始・古代文化」によれば『下堀集落の西北方から、信越線の南北にまたがるおよそ 40,000㎡の広大な遺跡で、中心は永井プラスチック工場付近と推定される。昭和 46 年の発掘調査では、少量の弥生後期の箱清水式土器、後・晩期の土師・須恵器、灰釉陶器、ほぼ完全な人骨 1 体等、豊富な遺物が検出された。』と記されている。

調査の結果

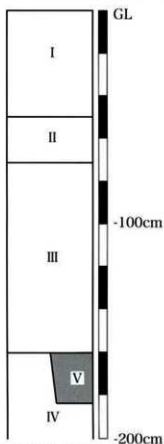
調査は届出地に幅約 1m のトレンチを 20m 入れて実施した。その結果、トレンチ西端の GL-160cm で堅穴遺構と古墳時代の土師器片を出土したものの、それ以东には遺物も以降も皆無であった。従って、西沖遺跡は当地番から西に広がっているとみられる。今回の調査の原因となった施工では、この西沖遺跡の範囲にかかることもないため、遺跡は現状保存とした。



調査位置図 (1/2500)



国分寺周辺遺跡群試掘調査トレンチ設定図 (1/1000)



国分寺周辺遺跡群土層柱状図

土層凡例

- I…灰色砂礫土層 (埋土)
- II…礫混じり橙灰色弱粘質土層
- III…橙褐色強粘質土層
- IV…灰褐色粘質土層 (遺構検出面)
- V…黒灰色遺構覆土



トレンチ掘削（西から）



トレンチ掘削（西から）



トレンチセクション（北から）

9 染屋台条里水田跡遺跡

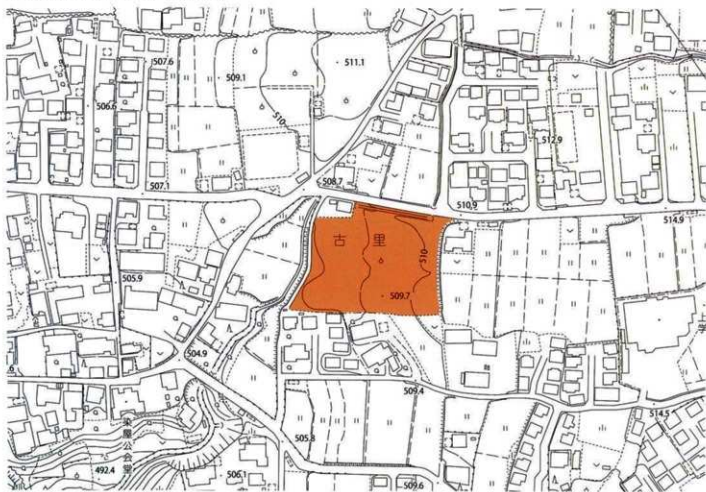
- (1) 調査地 上田市古里字堂前
- (2) 遺跡番号 上田52
- (3) 原因 宅地造成
- (4) 調査日 平成26年11月1日
- (5) 調査方法 バックホーによるトレンチ調査
- (6) 調査面積 約100㎡
- (7) 調査担当者 中沢徳士

経過

染屋台条里水田跡遺跡は市街地の北東部に拡がる条里水田遺跡で、遺跡分布図では台地全体を条里水田遺跡として括っているものの、従前の調査では埋没条里等の遺構は確認されていない。しかし、大規模開発事業等に伴う発掘調査や試掘調査等によって、幾つかの集落遺跡等が確認されており、少しずつではあるが台地上の遺跡の状況が把握されつつある。今回、宅地造成の計画に先立ち、遺跡の確認調査を実施した。

調査の結果

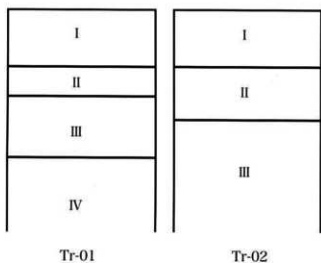
調査は拡幅範囲に2本のトレンチを入れて実施した。その結果、遺構・遺物の検出はまったくなく、当該地に遺跡が存在しないことが判明した。



調査位置図 (1/2500)



染屋台条里水田跡遺跡試掘調査トレンチ設定図 (1/1000)



土層凡例

- I … 黑色砂質土層 (耕作土)
- II … 灰橙色溶脱土層
- III … 黄灰色強粘質土層
- IV … 灰橙色強粘質土層

染屋台条里水田跡遺跡土層柱状図



Tr-01 掘削（東から）



Tr-02 掘削（西から）



調査地全景（北東から）

10 稲葉西遺跡

- (1) 調査地 上田市塩川 3358-2
- (2) 遺跡番号 丸子94
- (3) 原因 共同住宅建設
- (4) 調査日 平成26年11月13日
- (5) 調査方法 バックホーによるトレンチ調査
- (6) 調査面積 約40㎡
- (7) 調査担当者 中沢徳士

経過

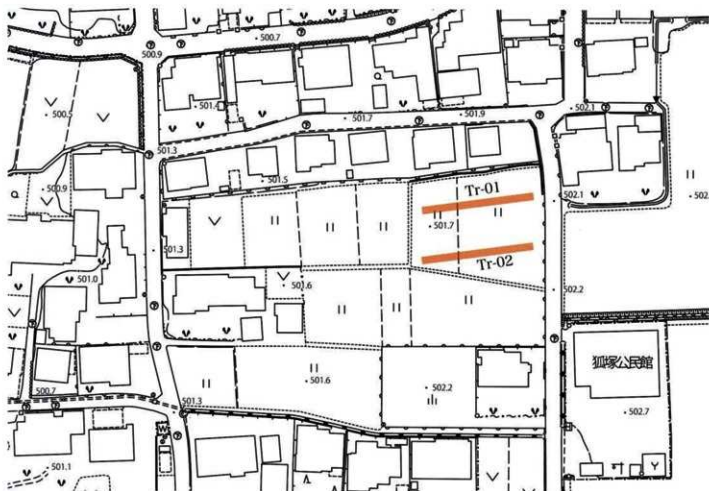
稲葉西遺跡は、塩川地区の千曲川左岸の段丘縁に位置し、土師、須恵器が出土する包蔵地として周知されている。このたび、遺跡内に共同住宅を建築するという届出があり、確認調査を実施した。

調査の結果

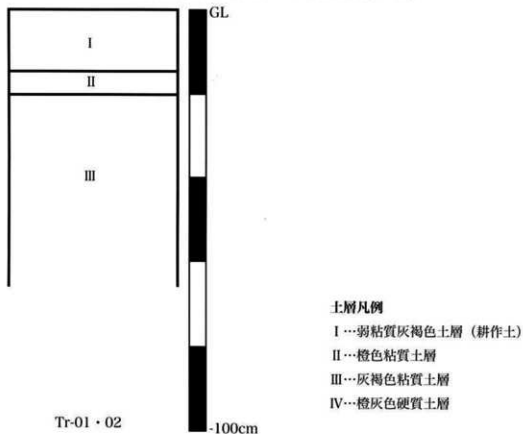
調査は校庭に2本のトレンチを入れて実施した。その結果、調査地からは遺構・遺物の出土はまったくなかった。



調査位置図 (1/2500)



稲葉西道跡試掘調査トレンチ設定図 (1/1000)



稲葉西道跡土層柱状図



Tr-01 (東から)



Tr-02 (西から)



調査地 (南東から)

11 下久根遺跡

- (1) 調査地 上田市古安曾 3843
- (2) 遺跡番号 上田199
- (3) 原因 個人住宅建設
- (4) 調査日 平成26年11月29日
- (5) 調査方法 バックホーによるトレンチ調査
- (6) 調査面積 約10㎡
- (7) 調査担当者 中沢徳士

経過

下久根遺跡は、『上田市の原始・古代文化』によれば「手洗池の北東方約100m、柳沢集落の西北部にあり、およそ3,000mにわたって、後期の土師器が出土している。」とあるが、過去に発掘調査を実施した履歴はない。

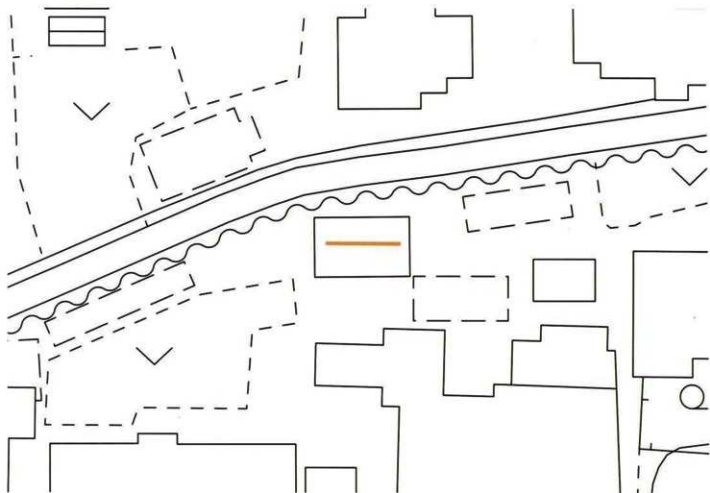
今回、同遺跡のほぼ中央で住宅建設の計画があり、確認のための試掘調査を実施した。

調査の結果

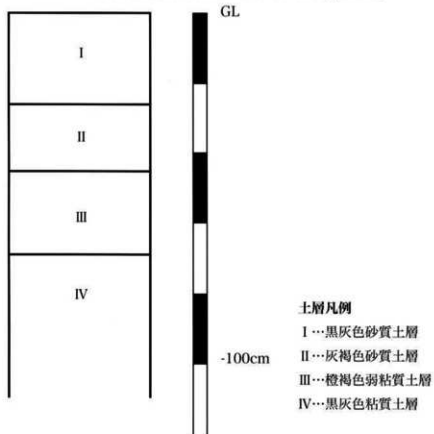
調査は届出地に1本のトレンチを入れて入れて実施した。その結果、遺構・遺物の出土は皆無であった。



調査位置図 (1/2500)



下久根道跡試掘調査トレンチ設定図 (1/1000)



下久根道跡土層柱状図



トレンチ掘削（東から）



トレンチ掘削（北西から）



トレンチセクション（南から）

報告書抄録

ふりがな	しないいせき
書名	市内遺跡
副書名	平成26年度市内遺跡発掘調査報告書
シリーズ名	上田市文化財調査報告書
シリーズ番号	第122集
編著者名	中沢徳士
編集機関	上田市教育委員会
所在地	〒386-0025 長野県上田市天神二丁目4番55号 TEL0268(23)6361
発行年月日	西暦2015年3月25日

所収遺跡名	所在地	コード		調査開始 日	調査対象及び 掘削面積(m)		調査の原因
		市町村	遺跡番号				
七反田遺跡	常磐城 6-13-13	20203	上田 69	2月5日	300	20	住宅建設
染屋台条里水田跡遺跡	上野 52		上田 52	3月5日	150	12	住宅建設
塩田城跡	前山 176		上田 235	3月12日	2,000	60	住宅建設
清水坂遺跡	下武石 135-1		武石 14	3月18日	2,000	30	堆肥小屋建設
染屋台条里水田跡遺跡	古里 46-1		上田 52	3月25日	200	10	防火水槽埋設
依田条里的遺構	御岳堂 682～684		丸子 56	5月2日	2,000	100	共同住宅建設
上平遺跡	長瀬 1363-100		丸子 115	6月3日	200	15	防火水槽埋設
国分寺周辺遺跡群	国分 994-4		上田 56	10月1日	500	20	共同住宅建設
染屋台条里水田跡遺跡	古里字堂前		上田 52	11月1日	2,000	100	宅地造成
稲葉西遺跡	塩川 3358-2		丸子 94	11月13日	400	40	共同住宅建設
下久根遺跡	古安曾 3843		上田 199	11月29日	200	10	住宅建設

所収遺跡名	種別	主な時代	検出遺構	出土遺物	保護措置
七反田遺跡	集落址	縄文	なし	なし	
染屋台条里水田跡遺跡	条里制遺構	平安～中世	なし	なし	
塩田城跡	城跡	中世	なし	なし	
清水坂遺跡	集落址	縄文	なし	なし	
染屋台条里水田跡遺跡	条里制遺構	平安～中世	なし	なし	
依田条里的遺構	条里制遺構	平安～中世	なし	なし	
上平遺跡	散布地	古墳～平安	なし	なし	
国分寺周辺遺跡群	集落址	弥生～平安	竪穴遺構	土師器片	現状保存
染屋台条里水田跡遺跡	条里制遺構	平安～中世	なし	なし	
稲葉西遺跡	集落址	古墳～平安	なし	なし	
下久根遺跡	散布地	平安	なし	なし	

上田市文化財調査報告書第122集

市 内 遺 跡

平成26年度市内遺跡発掘調査報告書

発行日 平成27(2015)年3月25日

発 行 上田市・上田市教育委員会

長野県上田市天神二丁目4番55号 TEL0268(23)6361

印 刷 一喜堂印刷

〒386-0401 長野県上田市塩川 630-30